

講義年月日	2003年10月8日 (水)
講演者	加藤 好郎氏 (慶應義塾大学三田メディアセンター事務長)
テーマ	国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会の事業展開とは
講義内容	<p>1. 国立情報学研究所」事業展開</p> <p>(1) 平成15年度大学図書館 NIIとの共同遡及入力事業の実施館選考について 人文社会科学系分野のコレクションの遡及入力を実施する。候補館は文部科学省から予算を貰って おらず、自館遡及率が55～75%に達している館。神戸大学または鹿児島大学が有力候補。</p> <p>(2) 国立大学法人化 (平成16年4月)にともなう文献複写料金の処理方法について 現行の料金支払いが出来なくなるため、対策として「ILL文献複写等料金相殺サービスの概要」を設定する。</p> <p>(3) メタデータデータベース共同構築事業の今後の展開について ・NII-IRP(NII Institutional Repository Portal)学術機関リポジトリポータル構築 世界規模の各種メタデータ総合目録の構築を行い、Web中の情報資源の横断的な検索を可能にする。 ・NII-USG(NII Union Subject Gateway)総合サブジェクトゲートウェイ構築 参加大学図書館による主題リンク集の協同構築。各大学の特色を生かした主題分野を分担する。</p> <p>(4) 国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC/JAPAN)について 編集工程の電子化支援 (紙媒体 電子)、英文論文誌の国際的支援 (編集、査読の充実を図る 編集 能力を持つ人材の育成)、ビジネスモデル創出事業 (価格交渉のノウハウ取得、販売ルート確立等)、 国際連携の推進 (認知度向上支援)、調査・啓発事業 (広報活動)。</p> <p>(5) 平成15年度目録所在情報サービスの事業計画について ・多言語対応の進捗 (平成15年6月 和漢古書資料、7月 アラビア語文字資料運用開始等) ・平成14年度新規作成書誌中、重複削除が5.6%あり CATデータベースの品質管理に関する解決策 を検討 (例 能力あるカタログの育成等) 研修委員会の立ち上げ。</p> <p>(6) その他 ・和漢古書に関するコーディングマニュアルについて ・アラビア文字資料の取扱いについて ・大韓民国国立中央図書館との目録データの交換について ・電子ジャーナルサーバー運営について</p> <p>2. 国公立大学図書館協力委員会」事業展開</p> <p>(1) 今後の事業展開を考慮し、NIIのオブザーバー参加を認める。</p> <p>(2) 大学図書館著作権検討委員会報告より 各加盟団体に「実務要項」を送付。 当事者会議 (権利者と図書館)を進める。</p> <p>(3) NIIとの懇談会報告より 電子ジャーナルリポジトリ(NII-REO)事業を今年度より開始。 GeNii (学術コンテンツポータル)事業も含め大学側と協力体制を進めたい意向。</p> <p>(4) 日本図書館協会とのあり方について 日図協は公共図書館と一緒に発展していくことを考え、 大学図書館部会は閉会すべきではないか。会費の問題は発行誌の購入に置き換えてはどうか。</p> <p>(5) GIF (Global ILL Framework)の今後の展開について シドニー大学、韓国から参加の申し込みあり 近い将来、国公立大学図書館協力委員会に専門委員会を設ける。</p> <p>(6) その他 ・大学図書館協力ニュース編集委員会報告 ・大学図書館研究」編集委員会報告 ・国立大学図書館協議会報告 ・公立大学協会図書館協議会報告 ・私立大学図書館協会報告 ・日本図書館協会大学図書館部会報告 平成15年度のICOLCへの派遣について ・大学図書館研究」編集委員会国際学術コミュニケーション編集委員招聘継続 ・図書館相互協利便覧」増補改訂版について ・(コンソーシアムでの)電子ジャーナル購入交渉の動向</p>
感想	今回の講義内容は、マネジメント能力を必要とする「専門職」としての図書館員が知って いなくてはならない情報だ。(勉強不足もあるが)現場の担当業務に没頭していると 図書 館界の最近の動向に注意を向ける機会が少なくなってしまう 担当業務の知識を深めるこ とも無論重要だが、今回のようなグローバルな視点から、図書館界の動向を把握すること も疎かにしてはいけなと改めて感じた。
配付物	国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会の事業展開とは」